

長澤: ではこれより令和3年度第2回評価部会を始めます。進行をさせていただきます副校長の長澤です。よろしくお祈いします。内容は一年間の学校評価の期末報告です。本日は会長の渡邊さんが欠席のため、副会長の梶田さん、お祈いします。

梶田: 本日はよろしくお祈いいたします。卒業式が3月3日に、感染対策をしながら行われました。旭高校は元々しっかりと対策を行って来ていましたが、より密にならないように実施していただきました。卒業式自体も和やかな雰囲気、担任が名前を呼ぶと明るく大きな返事をしていて保護者としてはとてもいい式であったと感じました。先生方や地域の関係の方々にお礼を申し上げます。

長澤: では続きまして、校長広瀬よりご挨拶です。

広瀬: 3月3日に卒業式を行わせていただきました。残念ながら各家庭1名ずつの参加となりました。入学式も同じ形で行う予定です。そして委員の皆様、本年度もありがとうございました。来年度に向けて、地域連携部会では新しいことへ挑戦していく場面が出てくると思うので、いろんなことを検討していけたらと思っております。

長澤: では配布した資料のA3版のもの、学校評価報告書をご覧ください。各グループより期末報告をさせていただきます。まず始めに教育課程・学習指導について、教務グループ渡邊先生お祈いします。

渡邊: 教育課程・学習指導については大きく分けて2つの柱に分けてお話しさせていただきます。まず1つ目は教育課程表についてです。来年から新課程になるのでカリキュラムマネジメントの視点から教育課程表を完成させることができました。今後は具体的な準備や作業に取り組む予定です。2つ目は授業改善についてです。グラウンドデザインに新たにチャレンジする生徒の育成が追加されたことで、11月には教員が他教科の授業を見学したり、工夫したことを実践したり、組織的に授業改善に取り組むことができました。別紙の授業評価アンケート集計結果をご覧ください。Q5がこの内容に合わせて設定した項目です。肯定的な回答が2学期では90%を超えることができました。6月にテーマ設定を行ってからは積極的に取り組み、1学期2学期ともに肯定的な意見が8割を超えました。職員からの振り返りについてはまだ集計ができていないので、年度内に行い来年度へ生かしていきたいと思ひます。

長澤: 教育課程・学習指導について、なにか質問、意見のある方はいますか。

梶田: 小・中学校だと入学者説明会のときに学習計画を配布していますが、高校ではやらないのですか。

渡邊: 年度初めに年間指導計画を配布しています。それを元に授業を進めますが、分数の計算が苦手だったり、学年によって違う特徴があるので生徒を見て判断していくというのが今の状況です。

長澤: では続いて、生徒指導・支援について、生活指導・生徒支援グループ菅野先生お祈いします。

菅野: 今年も県からきてるいじめアンケートに、学校の特色である挨拶の項目を加え、アンケートを行いました。挨拶については5割以上の生徒からいい回答が得られています。生活習慣の項目では、昨年は遅刻者が減ったとお話ししましたが、今年は増えてしまいました。電車・バスの遅延配慮が15分から30分以上と厳しくなったことありますが、雨の日の早めの行動を心がけさせる機会になったと思ひます。またコロナ禍で学校に来づらひ事も考えられます。細かい事情まですべて把握することは難しいですが、欠席数も全体で増えました。コロナに関連する校長が認めた欠席については書類の提出により対応をしています。いじめは今年も旭高校ではなしという結果になっています。次に生徒会活動ですが、コロナで行事ができないことが今年も続きました。4月の対面式も行えず動画を作成し教室で配信しました。体育大会はコロナではなく雨で中止となりました。体育大会については3年間行えなかったため、来年度は生徒全員が知らないまま行うこととなります。他にも外部との交流や毎年行っていたあさひカップがコロナで中止となりました。その中でも動画作成や文化祭は積極的に取り組む姿がたくさん見られました。来年度以降も対面式や修了式などもオンラインで行われると思うので、放送室の設備を整えていく予定です。

長澤： 生徒指導・支援について、なにか質問、意見のある方はいますか。

では続いて進路指導・支援について、進路支援グループ佐々木先生お願いします。

佐々木： Age28 ではライフプランを考えた進路を目指す、そのためにどのような学力を身につければいいかなど生徒側としての視点で考え、動いています。先ほど教務グループのアンケートを見ると、例年よりも授業時間以外での学習を心がけている生徒が多いですが、これはオンラインが続いたことが影響していると思うのでもっと主体的・意欲的な生徒が増えたらと思います。教員に対しては、オンラインが続いたことでICT 活用の力が上がったように思えます。進路としても面接指導や受験に関する情報提供を google フォームを利用し、円滑に行うことができました。また、1月に保護者面談を行ったことが大きかったです。家で話ができているのか確認をしたり、進路に対して安易な選択が減りました。その結果、今年度の実績は一般受験での合格者が49名で、突出しているのが専修大学や法政大学にも合格者が出たことです。そして特色でもありますが体育が得意な生徒が多く、日本体育大学への進学も増えました。ここ数年の中でもいい結果だと思えます。来年度も進路についての情報発信、家庭との連携を行っていきたいと思います。

長澤： 進路指導・支援について、なにか質問、意見のある方はいますか？

梶田： 子どもたちの中でも進学先に目立つ大学があると話題になります。〇〇さんが遊ばずに勉強しているという話も聞きました。勉強していても恥ずかしくないという環境作りを今後もして行って欲しいと思います。

長澤： では続いて、地域等との協働について、広報グループ小沼先生お願いします。

小沼： 学校運営協議会の議事録を作成し、各グループへ報告を行いました。ここで聞いたことを集約し、なるべく早くホームページへの掲載、職員への打ち合わせにつなげ、学校運営に生かしていきたいと思えます。地域の力を借りた生徒の学びや体験、コロナで誓約が多い中の活動をホームページや学校説明会で発信しつなげていきたいと思っています。

長澤： 地域等との協働について、なにか質問、意見のある方はいますか。

梶田： 令和元年に私が旭高校に来たときはホームページが全く動いていない状態でした。しかしここ1・2年は開くと新しいものがあがっていて、ビジュアルも明るく、YOUTUBEにもつながったり、見やすいと感じました。これは今後も継続してほしいと思っています。

長澤： 続いて学校管理・学校運営について、管理運営グループ五反田先生お願いします。

五反田： 環境整備として、Wi-Fi 機器を増やし、モニターを1・2年生の教室に設置しました。3年生の教室へは50周年記念として来年度に行う予定です。50期生は1人1台端末となるので学習コンテンツとしてスタディサプリを利用します。新2年生ではロイロノートを導入し、環境設備が整っている状態で来年度を迎えます。教員もリモートが多くなり工夫が見られたので、Wi-Fi のスポットを今後も増やすことが課題としてあります。防災訓練は今年はコロナで行うことができず、教室で動画を見ることになりました。次年度はマスクをして感染対策を行った上で防災訓練を行えるように考えています。

長澤： では学校管理・学校運営の③については小沼先生からお願いします。

小沼： 学校の情報発信についても生徒主体で活動できたらと考えています。ホームページは現在季節ごとに写真が変わったり、部活動には達成状況について更新できるよう月2回声かけを行っています。しかしコロナで試合がなく、更新ができない部活動もあるようです。ホームページについては生徒が内容を決めて更新ができるように現在検討中です。今年の学校説明会は今までより人が多く集まり、生徒主体の説明会を行うことができました。

長澤： 学校管理・学校運営について、なにか質問、意見のある方はいますか。

北瀬： 実際に外部と meet などをつなげて行っていることはありますか。

佐々木： 進路は外部講師とつなげて講習を行いました。

北瀬： なぜ聞いたかという、ケアプラザのデイサービスでボランティアとして吹奏楽部とつなげることは可

能か知りたくて聞きました。

阿部： SDGs が具体的なものとしてでてきていないと感じました。小さいことから取り組み、意識することが生活につながっていくので、ここに SDGs という言葉が1つしか出てきていないことが寂しく感じました。

広瀬： 今は SDGs が当たり前という世界です。新しいカリキュラムの探求の時間では SDGs への理解と取り組みというものがあります。1年生で産業能率大学と連携してテーマをもち、2年生で外部との連携でさらに深めていく、3年生ではいわゆる卒論みたいな発表をすることを検討中です。旭高校には地域、養護学校、被災地との交流が映像でたくさんあるので、先輩たちの姿を見せて学ばせていきたいと考えています。

長澤： たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。ではこれで評価部会を終わらせていただきます。